

6 JP-A 5-255059

**PREFUME COMPOSITION FOR HAIR COSMETIC AND HAIR CLEANING AGENT
KANEBO LTD**

Inventor(s): KOMAKI RYOICHI

Application No. 04087719 , Filed 19920310 , Published 19931005

Abstract:

PURPOSE: To obtain a perfume composition for hair cosmetic and hair cleaning agent having excellent masking effects on an offensive smell emitting from hair to which a smell of tobacco has been stuck, containing a purified oil of JINKOBOKU.

CONSTITUTION: The perfume composition containing 0.01-50wt.% purified oil as an active ingredient obtained from JINKOBOKU by a method for extraction with a supercritical carbon dioxide gas. The composition is further mixed with 0.01-50wt.% bright and light perfume component such as citrase base, muguet base, rose base, jasmine base or musk base. Useful for a fragrant product such as deodorant Cologne for hair, hair cosmetic such as hair tonic, liquid, lotion, spray, cream, treatment or pack and a hair cleaner such as shampoo. JINKOBOKU is a black resinous substance having a characteristic aroma formed from fallen tree or dead tree of the genus *Acquilaria* which has been embedded in soil for long years and treated with microorganisms and is mainly produced in Southeast Asia.

Dial gWeb Output

1/1 ページ



Dynamic Search: Derwent World Patents Index (for users in Japan)

Records for: JP05255059

save as alert...

save strategy only...

Output

Format: Full Record

Output as:

Browser

display/send

Modify

refine search

back to picklist

select
all none

Records 1 of 1 In full Format

1. 11/19/1

009654779

WPI Acc No: 93-348330/199344

XRAM Acc No: C93-154485

Perfume compsn. for hair cosmetic materials and cleaners to
mask cigarettes odour - contains essential oil obtd. from aromatic black
resin like Chinmoku-ko

Patent Assignee: KANEBO LTD (KANE)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Main IPC	Week
JP 5255059	A	19931005	JP 9287719	A	19920310	A61K-007/46	199344 B

Priority Applications (No Type Date): JP 9287719 A 19920310

Patent Details:

Patent	Kind	Lan	Pg	Filing Notes	Application	Patent
JP 5255059	A		8			

Abstract (Basic): JP 5255059 A

Perfume compsn. contains essential oil obtd. from Chinmoku-ko, an
aromatic black resin-like substance produced by microorganisms, e.g.
bacteria in Acquilaria trees embedded in soil over a long period.

The compsn. pref. contains at least one of citrus, muguet, rose,
jasmine, and musk based perfume ingredients.

The oil is pref. obtd. by steam distn. solvent extn. with hexane
of extn. with supercritical CO2 according to e.g. the method described
in Patent No. of 03098317. The blend amt. of the oil is 0.01-50 (0.1-5)
wt.%. The perfume include linonene, linalool, hydroxycitronellal,
phenyl ethyl alcohol, geraniol, benzyl acetate, hexyl cinnamic aldehyde
and musk ketone.

USE/ADVANTAGE - The compsn. has a high effect of masking the odour
of cigarettes adhered to the air.

Dwg. 0/0

Title Terms: PERFUME; COMPOSITION; HAIR; COSMETIC; MATERIAL; CLEAN; MASK;
CIGARETTE; ODOUR; CONTAIN; ESSENTIAL; OIL; OBTAIN; AROMATIC; BLACK; RESIN
Derwent Class: D16; D21; D23

International Patent Class (Main): A61K-007/46

International Patent Class (Additional): A61K-007/06; A61K-007/075;

C11B-009/00; C11D-003/50

File Segment: CPI

Manual Codes (CPI/A-N): D05-C; D08-B03; D10-A05A

(書誌+要約+請求の範囲)

- (19)【発行国】日本国特許庁(JP)
 (12)【公報種別】公開特許公報(A)
 (11)【公開番号】特開平5-255059
 (43)【公開日】平成5年(1993)10月5日
 (54)【発明の名称】頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物
 (51)【国際特許分類第5版】

A61K	7/46	301	9051-4C
	7/06		8615-4C
	7/075		8615-4C
C11B	9/00	A	2115-4H
// C11D	3/50		

【審査請求】未請求

【請求項の数】2

【全頁数】8

(21)【出願番号】特願平4-87719

(22)【出願日】平成4年(1992)3月10日

(71)【出願人】

【識別番号】000000952

【氏名又は名称】鐘紡株式会社

【住所又は居所】東京都墨田区墨田五丁目17番4号

(72)【発明者】

【氏名】駒木 亮一

【住所又は居所】神奈川県小田原市寿町5丁目3番28号 鐘紡株式会社化粧品研究所内

(57)【要約】

【目的】本発明は頭髮臭のマスクング効果に優れた頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物を提供すること。

【構成】沈香木から得られる精油を含有することを特徴とするたばこ臭マスクング頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物。

【特許請求の範囲】

【請求項1】沈香木から得られる精油を含有することを特徴とするたばこ臭マスクング頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物。

【請求項2】沈香木から得られる精油と、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース、ムスクベース等の香料成分とを含有することを特徴とするたばこ臭マスクング頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物。

詳細な説明

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、たばこ臭の付着した頭髮から発する悪臭のマスクング効果に優れたマスクング剤として、更には、頭髮化粧料用及び頭髮洗淨用香料として有用なる頭髮化粧料用及び頭髮洗淨用香料組成物に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】従来、たばこ臭の付着した頭髮から発する悪臭の防止方法としては、香料組成物によるマスクング法が用いられている。しかしながら、従来のマスクング用香料組成物の処方設計は、調香師の長年の経験と勘に頼ってきた。

【0003】しかも、十分なマスクング効果を得るためには、重く暗く非常に特徴のある強い香りを使用しなければならず、香りが強すぎてかえって不快感を与えてしまうなどの問題点があった。

【0004】また、最近では自然な軽く明るい香りが好まれているが、このような自然で軽く明るい香りでは、たばこ臭を長時間にわたってマスクングすることは不可能であった。特にたばこ臭の付着した頭髮から発する悪臭のマスクングを目的とした香料は、未だ見出だされてはいないのが現状である。

【0005】本発明者らは、このような事情に鑑み、鋭意検討を重ねた結果、後記特定の頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物が頭髮臭のマスクング効果に優れることを見出し、本発明を完成した。

【0006】即ち、本発明の目的は、頭髮臭のマスクング効果に優れた頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の目的は、沈香木精油を含有することを特徴とする頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物、及び沈香木精油精油にシトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース、ムスクベース等の明るく軽い香料成分を添加した頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物によって達成される。以下、本発明の構成に関して詳説する。

【0008】本発明によって使用される沈香木とは、*Acquilaria*属の倒木、枯木が土中に長年月埋没し、その間細菌等の微生物の影響によって生成した特有の芳香を有する黒色を呈した樹脂性物質で、東南アジアを主たる産地とするものである。沈香木精油を得る方法としては、沈香木を粉碎し、水蒸気蒸留法及び溶媒抽出法(n-ヘキサン)がある(これらの方法によって得られる沈香木精油をそれぞれ沈香木水蒸気蒸留物及び沈香木溶媒抽出物と称する。)。また、超臨界炭酸ガス抽出によっても得ることができる(この精油を沈香木超臨界炭酸ガス抽出物と称する。)。これらの精油は褐色から黒色の芳香を有する液体である。特に好ましくは沈香木超臨界炭酸ガス抽出物である。

【0009】本発明に用いる沈香木超臨界炭酸ガス抽出物は、特願平3-98317号公報に記載の方法に準じて得られるものである。

【0010】沈香木精油の含有量は、香料組成物を基準として、0.01重量%~50重量%(以下wt%と略記する)、好ましくは0.1wt%~5wt%である。0.01wt%未満の場合は、たばこ臭の付着した頭髮から発する悪臭のマスクング効果が不十分になる傾向がみられ、50wt%を超えると、芳香性が低下するので、好ましくない。

【0011】本発明の頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物に配合される香

料成分としては、シトラスベース、ミュゲベース、ローズベース、ジャスミンベース、ムスクベース等の明るく軽い香料成分が好ましいものとして挙げられ、いずれも公知で、汎用される香料成分を含有する。例えばシトラスベースはリモネン、シトラール、リナロール、リナリルアセテート等からなり、ミュゲベースはハイドロキシシトロネラール、リラール、リリアール等からなり、ローズベースはフェニルエチルアルコール、シトロネロール、ゲラニオール等からなり、ジャスミンベースはベンジルアセテート、メチルディヒドロジャスモネート、ヘキシルシンナミックアルデヒド等からなり、ムスクベースはギャラクソリッド、ムスクeton、シクロペンタデカノライド等からなるがこれらに限定されるものではない。

【0012】これらの香料成分は、本発明の香料組成物に保留性やこくを与え、また、トップノート、ボディノート、ラストノートをうまく組み合わせることによって、経時的にも魅力のある香りにすることができる。

【0013】また、本発明の香料組成物には、香料成分の組成比の調整のために、ジエチルフタレート等の希釈剤を配合することもできる。

【0014】本発明の頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物に配合される香料成分の含有量は、香料組成物を基準として、0.01重量%～50重量%(以下wt%と略記する)、好ましくは0.1wt%～5wt%である。0.01wt%未満の場合は、芳香性が低下する傾向がみられ、50wt%を超えると、特有の芳香性が強くなるので、好ましくない。

【0015】本発明の香料組成物は、本発明の沈香木精油が少量で長時間頭髮臭のマスクング効果を発揮する為、従来のマスクング香料に見られた重く、暗く、力強い香りとは異なる、弱い香り(自然で軽く、明るい香り)、例えば、ローズカーネーションジャスミン等のシングルフローラル、フローラルブーケ、フローラルアルデヒド、フローラルグリーン、シプレー、オリエンタル、シトラス等でも処方を組みめるという利点を有している。

【0016】本発明の香料組成物は、頭髮用デオドラントコロンのフレグランス製品、ヘアートニック、ヘアークリッド、ヘアローション、ヘアースプレー、ヘアセッティングフォーム、ヘアークリーム、ヘアミルク、ヘアブローローション、ヘアブロースプレー、ヘアセッティングジェル、ヘアスティック、リンス、ヘアコンディショナー、ヘアトリートメント、メントヘアエッセンス、ヘアパック等の頭髮化粧料やシャンプー等の頭髮洗淨料等に利用される。

【0017】これらの製品への該香料組成物の配合量は、製品形態によっても異なるが、製品総量を基準としてフレグランス製品には0.5wt%～30wt%、ヘアートニック、シャンプー等のヘアケア製品には0.1wt%～1.0wt%即ち、イランイラン、ラベンダー、ラバンジン等の少なくともひとつから得られる精油が、フレグランス製品中0.0001wt%～10wt%、好ましくは0.001wt%～1wt%、ヘアケア製品中0.00005wt%～0.5wt%、好ましくは0.0005wt%～0.05wt%含有される。

【0018】

【実施例】以下、実施例及び比較例によって本発明を詳説するが、本発明は実施例の記載に限定されるものではない。

【0019】実施例、及び応用例に先立ち、評価方法について述べる。

【0020】実施例の評価方法【0021】(1)マスクング効果評価試験方法毎分10リットルの空気を循環させた20リットルのガラス製の容器内に、着火した市販紙巻き煙草を一本入れ、煙草は10分ごとに交換しこれを煙室とした。この煙室内に、十分に洗淨を行った頭髮束5グラムを20分間さらし、取り出した後30分経過

したものにエチルアルコールで0.3%に希釈した頭髪化粧料用及び頭髪洗淨料用香料組成物を噴霧する。(1回の噴霧量約0.1グラム)この香料組成物の噴霧より5分後、30分後、1時間後に頭髪束から発する悪臭がマスキングされているかどうかを、5名の調香師が判断し、下記の基準で評価した。

【0022】

官能的判断	評価点
1. たばこ臭の付着した頭髪から発する臭いが完全にマスキングされ、悪臭がしない。	2点
2. やや、たばこ臭の付着した頭髪から発する臭いがするが、香料の香りもし、悪臭とまでは感じられない。	1点
3. たばこ臭の付着した頭髪から発する臭いがし、悪臭と感じられた。	0点

【0023】5名の得点の合計を、下記の基準で評価した。

得点の合計	評価結果
8～10点	◎
5～7点	○
2～4点	△
0～1点	×

【0024】(2)香りの官能評価試験方法(1)のマスキング効果評価試験方法と同様に5分後、30分後、1時間後に、20名のパネルが頭髪束のにおいを官能的に判断し、下記の基準で評価した。

【0025】

官能的判断	評価結果
1. 自然で軽く明るい香りで良いと答えた人が、17名以上	◎
2. 自然で軽く明るい香りで良いと答えた人が、11名～16名	○
3. 自然で軽く明るい香りで良いと答えた人が、5名～10名	△
4. 自然で軽く明るい香りで良いと答えた人が、4名以下	×

【0026】応用例の評価方法【0027】(1)マスキング効果評価試験方法煙草の煙を充満させた容積約70立方メートルの部屋に、女性パネラーを30分間入室させた後、調製した頭髪化粧料及び頭髪洗淨料を、通常の使用方法にしたがって使用し、使用直後、1時間後、3時間後の頭髪から発する臭いがマスキングされているかどうかを、5名の調香師が判断し、実施例と同様の基準で評価した。

【0028】(2)香りの官能評価試験方法煙草の煙を充満させた容積約70立方メートルの部屋に、女性パネラーを30分間入室させた後、調整した頭髪化粧料及

び頭髪洗浄料を、通常の使用方法にしたがって使用し、使用直後、1時間後、3時間後の頭髪から発する臭いを、20名のパネルが官能的に判断し、実施例と同様の基準で評価した。

【0029】実施例には沈香木精油の他に、香料成分としては、リモネン、シトラール、リナロール、リナリルアセテートからなるシトラスベース及び、ハイドロキシシトロネロール、リラルール、リリアーからなるミュゲベース及び、フェニルエチルアルコール、シトロネロール、ゲラオールからなるローズベース及び、ベンジルアセテート、メチルディヒドロジャスモネート、ヘキシルシンナミックアルデヒドからなるジャスミンベース及び、ギャラクソライド、ムスクケトン、シクロペンタデカノライドからなるムスクベースを用いた。

【0030】実施例1～3、比較例1～3(頭髪化粧料用及び頭髪洗浄料用香料組成物)

調製方法表1及び表2の処方に示した成分を混合し、頭髪化粧料用及び頭髪洗浄料用香料組成物を調製し、評価結果を表1及び表2に示した。

【0031】

【表1】

(単位：重量%)

		実施例1	実施例2	実施例3
沈香木溶媒抽出物		1.0	—	—
沈香木水蒸気蒸留物		—	0.5	—
沈香木超臨界抽出物		—	—	0.1
ミュゲベース		26	25.5	25.9
ローズベース		4.0	4.0	4.0
ジャスミンベース		19	19	19
シトラスベース		30	30	30
ムスクベース		20	20	20
ジエチルフタレート		1.0	1.0	1.0
マスキング効果試験	5分後	◎	◎	◎
	30分後	○	○	○
	1時間後	△	○	○
香りの官能評価試験	5分後	○	◎	◎
	30分後	○	○	○
	1時間後	△	○	○

【0032】

【表2】

(単位：重量%)

		比較例 1	比較例 2	比較例 3
ミュゲベース		3 0	1 0	2 0
ローズベース		—	4	—
ジャスミンベース		1 9	5	—
シトラスベース		3 0	5 0	7 0
ムスクベース		2 0	3 0	9
ジェチルフタレート		1	1	1
マスキング効果試験	5 分後	○	○	○
	3 0 分後	×	△	×
	1 時間後	×	×	×
香りの官能評価試験	5 分後	○	◎	◎
	3 0 分後	×	△	○
	1 時間後	×	×	×

【0033】表1及び表2から分かるように、本発明の香料組成物を含有する頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物は、比較例の香料組成物と比較して、良好なマスキング効果及び官能特性に優れることが分かった。

【0034】応用例1～3, 比較応用例1～3(ヘアートニック)

調製方法表3の処方に示した成分を混合し、ヘアートニックを調製し、評価結果を表3に示した。

【0035】

【表3】

(単位：重量%)

	応用例 1	応用例 2	応用例 3	比較 応用例 1	比較 応用例 2	比較 応用例 3
ポリオキシエチレン(20) ポリオキシプロピレン (20)アルキルエーテル	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1
ピリドキシン	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05
殺菌剤	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1
エタノール	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5	5 5
メチルパラベン	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1
1,3-ブチレングリコール	2. 0	2 0.	2. 0	2. 0	2. 0	2. 0
精製水	残余	残余	残余	残余	残余	残余
実施例1の香料組成物	0. 8	—	—	—	—	—

" 2 "	—	0. 8	—	—	—	—
" 3 "	—	—	0. 8	—	—	—
比較例 1 の香料組成物	—	—	—	0. 8	—	—
" 2 "	—	—	—	—	0. 8	—
" 3 "	—	—	—	—	—	0. 8
マスキング 効果試験	5分後	◎	○	○	×	△
	30分後	○	○	◎	△	△
	1時間後	○	○	○	△	×
香りの官能 評価試験	5分後	○	○	○	△	△
	30分後	○	○	○	×	×
	1時間後	◎	○	○	×	△

【0036】表3からもわかるように、本発明の香料組成物を含有するヘアートニックは、それを含有しないものと比べて、頭髮臭のマスキング効果及び官能特性に優れ、しかもその効果の持続時間も長かった。

【0037】応用例4～6、比較応用例4～6(シャンプー)

【0038】表4の処方に示した成分を混合し、シャンプーを調製した。評価結果を表4に示した。

【0039】

【表4】

(単位：重量%)

	応用例 4	応用例 5	応用例 6	比較 応用例 4	比較 応用例 5	比較 応用例 6
ポリオキシエチレン(3) ラウリルエーテル硫酸 ナトリウム	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0
エデト酸2ナトリウム	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1	0. 1
ジステアリン酸 エチレングリコール	1. 5	1. 5	1. 5	1. 5	1. 5	1. 5
ヤシ油脂肪酸 ジエタノールアミド	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0	4. 0
塩化ナトリウム	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0	1. 0
精製水	残余	残余	残余	残余	残余	残余
実施例 4 の香料組成物	1. 0	—	—	—	—	—
" 5 "	—	1. 0	—	—	—	—
" 6 "	—	—	1. 0	—	—	—
比較例 5 の香料組成物	—	—	—	1. 0	—	—

" 6 "		—	—	—	—	1. 0	—
" 7 "		—	—	—	—	—	1. 0
マスキング 効果試験	5分後	○	◎	◎	×	×	×
	30分後	◎	○	○	×	△	×
	1時間後	◎	○	○	×	×	△
香りの官能 評価試験	5分後	○	○	◎	△	×	×
	30分後	○	◎	○	×	×	△
	1時間後	○	○	○	×	△	×

【0040】表4からもわかるように、本発明の香料組成物を含有するシャンプーは、それを含有しないものと比べて、頭髮臭のマスキング効果及び官能特性に優れ、しかもその効果の持続時間も長かった。

【0041】

【発明の効果】本発明は、たばこ臭の付着した頭髮から発する悪臭のマスキング効果に優れた頭髮化粧料用及び頭髮洗淨料用香料組成物を提供することは明らかである。